

令和6年度 事業所評価

【放課後等デイサービス】

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	RUI		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 6日	～	令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日	～	令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心して楽しく通うことができていること	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を自宅に近い環境にしていること。 ・「ただいま」「おかえり」などのあいさつなど、自宅に帰ったような安心感を感じられるような雰囲気作り。 ・余裕を持った人員配置により、児童ひとりひとりに目が行き届きやすいこと。 ・安全計画を作成し、万が一に備え定期的に避難訓練等を実施していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方を含めた避難訓練の実施はできていないため、保護者の方の意向を確認しながら検討を行う。
2	様々な活動や経験ができるようなプログラムがあること	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は、季節の行事や工作活動や集団での活動、おやつ購入学習やおやつ作りなどを行っている。 ・土曜や長期休暇は、平日同様の活動の他にも、公園や公共施設、テーマパーク、各種イベントなど、ジャンルを問わず様々な場所への外出しクレーションを企画し、日常生活では経験することの少ない社会体験活動に参加することができるようプログラムを組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童が様々な社会体験活動ができるようなプログラムを行っていく。 ・児童が主体的に活動に参加できるように、児童の要望も取り入れていく。 ・その様子を通信やInstagram等で保護者の方へ情報共有を行う。
3	BBQや夏祭り、ボウリング大会やハロウィンパーティーなどのイベントを企画し、保護者の方との交流の場を設けていること	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と保護者の方、スタッフと保護者の方、保護者の方同士、兄弟児との交流が行えるようなプログラムを企画している。 ・イベントの際は、児童の写真を掲示するなどし、日頃の児童の様子を保護者の方が見ることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの際に、児童や保護者、兄弟児、スタッフが和気あいあいと交流できるような雰囲気作りを行う。 ・プログラムの中で、全員参加型のゲーム等を取り入れる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・通信の定期的な発行がなくなっていることで、保護者の方が児童の様子を知る機会や子育てへの助言等を行う機会が減っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な通信を再開するかどうかを検討すること。 ・SNSを活用した情報発信をしていることを保護者の方へ周知すること。
2	地域の方との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・時期を問わず様々な感染症が流行していることから、積極的な交流は控えていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出先で出会った地域の児童や地域の方との交流は自然な形で行われているため、別の行事として地域の方との交流を企画することが必要かどうかは検討が必要。 ・感染対策を行った上で、地域の方との交流が行えるか検討すること。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	RU I
------	------

公表日 令和7年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	複数の指導訓練室があり、児童の人数に対して余裕のあるスペースを確保しています。また、訓練室ごとに活動を分けられるため、様々な活動に取り組める環境作りができています。	今後も適切なスペースを確保しながら、様々な活動や訓練に取り組むことができる環境作りを行っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	基準を満たし、余裕のある人員配置を行っています。	人員配置基準を満たすことはもちろん、様々な職種のスタッフを配置し、多角的な視点で支援を行うことができるよう努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	事業所内は一般的な住居と同じような造りであり、特別なバリアフリー化は行っていませんが、室内での歩き方や過ごし方などを考えられるような支援や配慮を行っています。	事業所が建物の2階に位置しているため、事業所に来るまでに階段をのぼる必要があるため、児童の様子や特性に合わせてより安全な移動を行うことができるよう配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 毎日掃除を行っています。感染症対策として、アルコール消毒、換気、衛生面での管理を行っています。 児童が過ごし方を選べるような環境づくりを心掛けています。 	今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	体調不良時やクールダウンなどの際に、個別の部屋を使用しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 入社時にPDCAサイクル及びOODAサイクルの考え方についての研修を行っています。 また、日々のミーティングの中でPDCAサイクルを意識した支援の検討を行っています。 	今後も全てのスタッフが主体的に考え、児童1人ひとりに合った支援や関わり方を検討し、実行していきたいと思えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	全家庭に向けてアンケートを実施しています。結果をもとに業務改善に向けた検討を行っています。	今後もアンケートを実施し、各家庭のニーズを汲み取ると同時に業務改善に繋げていきたいと思えます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングや定例会等で話し合う時間を設け、業務改善に努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%		必要に応じて外部の評価を取り入れる予定です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	各テーマに沿った事業所内研修を定期的を実施しています。	今後も継続して研修を行うことで、スタッフの支援の質の向上を目指していきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成しています。	支援プログラムに沿った支援を行っています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	保護者の方だけではなく、児童にも聞き取りやアンケートを行っており、その内容も支援計画に反映するようにしています。	今後も適宜アセスメントを行うことで、児童や保護者の方のニーズを汲み取り、児童の実態に合った支援計画の作成を行っていききたいと思います。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援計画を作成する際には、直接支援に関わるスタッフとの情報交換を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画をスタッフ全員が周知し、支援を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートやアンケートなどを用いてアセスメントを行っています。	必要に応じてアセスメントツールの見直し等を行いながら、児童の実態把握を行っています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	支援計画を作成する際は、ガイドラインに基づき、児童ひとりひとりに必要な項目や具体的な支援内容を設定しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	全てのスタッフが活動内容を把握し実施できるようにしています。	今後も全てのスタッフが関わりすることで、様々なプログラムを組むことができるようにしていきたいと思っています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動内容に偏りが出ないように、複数のスタッフでプログラムを組むようにしています。	今後も全てのスタッフが関わりすることで、様々なプログラムを組むことができるようにしていきたいと思っています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	児童の様子や状態を常に把握し、その時の状態や状況に合わせた支援内容を検討し、実施しています。	今後も児童の様子や状態に応じて、適切な関わりや支援を提供することができるようにしていきたいと思っています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	利用児童の確認や活動等の確認を行っています。	今後もスタッフ間の報告・連絡・相談を徹底し、より良い支援の提供を行っていききたいと思います。
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	その日の児童の様子や状態、連絡事項など共有するようにしています。また、事業所内の連絡ツールを用いることで、全スタッフが内容を共有することができるよう配慮しています。	今後もスタッフ間の報告・連絡・相談を徹底し、より良い支援の提供を行っていききたいと思います。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	入社時に支援経過記録についての研修を行い、支援経過記録の必要性や書き方などを学ぶ機会を設けています。支援経過記録等を元に支援の方向性を検討しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にもモニタリングを行っています。またアセスメントについても適宜行い、児童の実態把握に努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	100%	0%	4つの基本活動を複数組み合わせ、児童が様々な経験ができるよう支援を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・訓練室ごとに活動を分けられるため、児童が過ごし方を自分で決めることができます。	今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者だけでなく、直接支援を行うスタッフについても参加できるような機会を設けています。	今後も状況に合わせて、より多くのスタッフが参画できるような機会を作りたいと思ひます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	必要に応じて連携を取ることができるよう、情報収集を行っています。	必要に応じて関係機関との連携を取ることができるようにしていきたいと思ひます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	17%	学校関連の情報共有及び連絡調整については、学校側の意向もあり保護者の方を通して行っております。	必要に応じて学校との連携を取ることができるようにしていきたいと思ひます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	現在、該当児童なし。	今後、連携が必要な場合には積極的に情報共有を行っていきたく考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%	現在、該当児童なし。	今後、連携が必要な場合には積極的に情報共有を行っていきたく考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	17%	83%	必要に応じて連携を取ることができるよう、情報収集を行っています。	必要に応じて関係機関との連携を取ることができるようにしていきたいと思ひます。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	時期を問わず、様々な感染症が流行しているため、積極的な交流は控えています。事業所内で行事を行う際には、行事の内容に応じてご家族や兄弟姉妹を招待しています。	今後の状況のみて、障がいのない児童との交流や活動の機会についても検討していきたいと思ひます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	17%	83%	積極的な参加は行っていません。	自立支援協議会には関心がありますが、積極的な参加は難しい状況です。自立支援協議会の活動などを活用していきたいと考えています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・利用ごとに連絡帳や送迎時にその日の様子をお伝えしています。連絡帳や送迎時に伝えられなかったことは、電話やLINE等でお伝えするようにしています。 ・相談事がある際には、保護者の方からもご連絡をいただけるので、情報共有を行うことができます。	今後も日々のやり取りや面談等を通して情報共有を行い、共通理解のもと、適切な支援や関わりを行うことができるようにしていきたいと思っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	必要に応じてお子さんとの関わり方や支援の方向性などについて相談及び助言等を行っています	個別の相談や面談だけでなく、希望があれば保護者会等においてペアレント・トレーニングのような機会を設けることができるよう検討していきたいと思っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	利用開始時に行っています。	利用開始時及び必要に応じて説明させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者の方だけでなく、児童にも聞き取りやアンケートを行っており、その内容も支援計画に反映するようにしています。	今後も適宜アセスメントを行うことで、児童や保護者の方のニーズを汲み取り、児童の実態に合った支援計画の作成を行っていききたいと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	保護者の方に、支援計画を示しながら支援内容の説明を行い同意を得ています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じてお子さんとの関わり方や支援の方向性などについて相談及び助言等を行っています。	今後も利用児童への支援だけでなく、ご家族みなさまに安心していただけるような支援を提供していきたいと思っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	夏祭りやハロウィンパーティー、ボウリング大会など、定期的に保護者参加型の活動を行っています。	保護者の方の意向を確認しながら、交流を持てるような機会を検討していきたいと思っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・事業所の対応に対して疑問や不安点がある際には、保護者の方からすぐにご連絡をいただけるため、早期に対応・検討することができるよう努めています。 ・検討内容や改善策をお伝えし、真摯に対応させていただいています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・不定期ではありますが通信を発行し、日々の支援に繋がる内容や連絡事項、行事予定等をお知らせしています。 ・また、Instagramでは行事や日常の様子を写真でお知らせしています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・外部の方及び児童がいる場面においては、個人情報漏れるような対応、会話等は行わないよう徹底しています。 ・個人情報を含む書類は鍵付き書庫で保管しています。また、不必要な事業所外への持ち出し等がないよう徹底しています。 ・写真等の取扱いについても、事前に確認を行い、各児童ごとに対応しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	44	障害のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者の方とお話をする際には、難しい言葉は使わずに伝わりやすい言葉や内容でお伝えするよう心掛けています。 ・連絡事項等がある場合には、電話やLINEなどを活用し、ご家庭に合わせた連絡方法で情報共有を行っています。 	今後もより安心して利用していただけるよう、それぞれの児童や保護者の方に合わせた丁寧なやり取りを心掛けてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	時期を問わず、様々な感染症が流行しており、積極的な交流は控えています。地域の方々には様々な面でお世話になることもあり、事業所や児童のことも気に掛けていただいています。	今後は地域の方々のご協力に感謝し、状況を見て、地域の方々との交流の機会についても検討していききたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルを策定し、事業所内で周知しています。また、必要に応じて保護者の方にもお渡しし、連携を取ることができるよう努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	災害や非常事態等の様々な場面を想定し、年に2回以上、避難訓練を実施しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時に保護者の方へ確認しています。 ・服薬状況が変更になった場合は、保護者の方から連絡をいただいています。 	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%	現在、対象児童なし	必要に応じて医療機関等との連携を取ることができるようしていきたいと思っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し、定期的に研修の受講や訓練等を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	現在、該当児童なし。	必要に応じて医療機関等との連携を取ることができるようしていきたいと思っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有及び再発防止策の周知徹底を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事業所内での研修を実施するとともに、日頃から意識して支援にあたることできるよう周知徹底しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束のマニュアルを策定し、事業所内で共有しています。 ・現在、身体拘束が必要となる場面が想定される児童はいないため、運用事例はありません。 	児童の特性等を考慮しながら、適切に対応していききたいと思っています。	

令和6年度 事業所評価

【保育所等訪問支援】

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	RUI		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童や保護者の方や訪問先施設の方に保育所等訪問支援を満足していただけていること	<ul style="list-style-type: none"> 児童や保護者の方や訪問先施設の方が安心して保育所等訪問支援が利用できるようなこまめな連絡等をしている。 保護者の方や訪問先施設の方からの相談などには、できる限り早めに対応している。 児童や保護者の方、訪問先施設の方のニーズを踏まえた支援計画を基に支援を行っている。 訪問時、訪問先施設のルールに沿って行動している。 	今後も継続して取り組んでまいります。
2	保育所等訪問支援報告書の内容が丁寧でわかりやすいこと	<ul style="list-style-type: none"> 報告書を記録する際には、保護者の方や訪問先施設の方に伝わりやすい言葉を使っている。 児童の様子が伝わりやすいよう詳細に記載している。 	今後も継続して取り組んでまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方へ緊急時の対応や安全計画についての周知が不十分なこと。 保育所等訪問についての情報発信が少ないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 通信やSNS等で情報発信の必要性を検討する。
2	訪問支援実施後のカンファレンス	<ul style="list-style-type: none"> その日のスケジュールや訪問先施設の都合によりカンファレンスの時間が十分に取れないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 余裕のあるスケジュールの調整。 訪問先施設の予定等の確認。 学校現場における保育所等訪問支援というサービス自体の認知度の向上及びサービスの趣旨の理解、協力体制の構築を図るためのより積極的な働きかけ。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		RUI		公表日 令和7年3月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点、改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
備体運環 制営境 整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%	0%	現在、教具教材を用いた支援を行う場面自体がありませんが、児童の実態に合わせた支援提供に努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	基準を満たした人員配置を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・入社時にPDCAサイクル及びOODAサイクルの考え方についての研修を行っています。 ・また、日々のミーティングの中でPDCAサイクルを意識した支援の検討を行っています。	今後も全てのスタッフが主体的に考え、児童1人ひとりに合った支援や関わり方を検討し、実行していきたいと思います。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	全家庭に向けてアンケートを実施しています。結果をもとに業務改善に向けた検討を行っています。	今後もアンケートを実施し、各家庭のニーズを汲み取ると同時に業務改善に繋げていきたいと思っています。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングや定例会等で話し合う時間を設け、業務改善に努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%		必要に応じて外部の評価を取り入れる予定です
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	各テーマに沿った事業所内研修を定期的実施しています。	今後も継続して研修を行うことで、スタッフの支援の質の向上を目指していきます。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者の方に聞き取りやアンケートを行っており、その内容も支援計画に反映するようにしています。	今後も適宜アセスメントを行うことで、児童や保護者の方のニーズを汲み取り、児童の実態に合った支援計画の作成を行っていききたいと思います。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画を作成する際には、直接支援に関わるスタッフとの情報交換を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	訪問先施設や担任等の意向も確認し、保育所等訪問支援計画を作成しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画をスタッフが周知し、支援を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートやアンケートなどを用いてアセスメントを行っています。	必要に応じてアセスメントツールの見直し等を行いながら、児童の実態把握を行っています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインに基づいて保育所等訪問支援計画の作成を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画をスタッフが周知し、支援を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	訪問日にスタッフ間で打ち合わせを行っています。	今後もスタッフ間の報告・連絡・相談を徹底し、より良い支援の提供を行っていききたいと思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	その日の児童の様子や状態、連絡事項など共有するようにしています。	今後もスタッフ間の報告・連絡・相談を徹底し、より良い支援の提供を行っていききたいと思います。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	訪問先施設のルールに沿って訪問支援を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点、改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%	保育所等訪問支援報告書を作成しています。報告書や訪問時のメモを元に支援の方向性を検討しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にもモニタリングを行っています。またアセスメントについても適宜行い、児童の実態把握に努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者だけでなく、直接支援を行うスタッフも参加できるような機会を設けています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携を取ることができるよう、情報収集を行っています。	必要に応じて関係機関との連携を取ることができるようにしていきたいと思います。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就学前に情報共有の場に参加しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	67%	33%	業務の都合により、外部研修への積極的な参加は難しい状況です。	必要に応じて専門機関からの助言や外部研修への参加をしていきたいと思います。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	積極的な参加は行っていません。	自立支援協議会等には関心がありますが、積極的な参加は難しい状況です。自立支援協議会の活動などを活用していきたいと考えています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・報告書で訪問時の様子をお伝えしています。報告書で伝えられなかったことは、電話やLINE等でお伝えするようになっています。 ・相談事がある際には、保護者の方からもご連絡をいただけるので、情報共有を行うことができます。	今後も日々のやり取りや面談等を通して情報共有を行い、共通理解のもと、適切な支援や関わりを行うことができるようにしていきたいと思います。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	必要に応じてお子さんとの関わり方や支援の方向性などについて相談及び助言等を行っています。	個別の相談や面談だけでなく、希望があれば保護者会等においてペアレント・トレーニングのような機会を設けることができるよう検討していきたいと思います。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	利用開始時に行っています。	利用開始時及び必要に応じて説明させていただきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	利用開始時に行っています。	利用開始時及び必要に応じて説明させていただきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者の方だけではなく、児童にも聞き取りやアンケートを行っており、その内容も計画書に反映するようになっています。	今後も適宜アセスメントを行うことで、児童や保護者の方のニーズを汲み取り、児童の実態に合った計画書の作成を行っていただきたいと思います。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画を示しながら、説明を行い同意を得ています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じてお子さんとの関わり方や支援の方向性などについて相談及び助言等を行っています。	今後も利用児童への支援だけでなく、ご家族みなさまに安心していただけるような支援を提供していきたいと思っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%		保護者の方の意向を確認しながら、交流を持てるような機会を検討していきたいと思います。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	相談や申し入れ等には、電話やLINEなどを活用し、早めの対応を努めております。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	保育所等訪問支援に特化した通信等の発行やSNS等の活用は行っていません。	保護者の方の意向を確認しながら、検討していきたいと思います。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点、改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
保護者等への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の方及び児童がいる場面においては、個人情報漏れのような対応、会話等は行わないよう徹底しています。 ・個人情報を含む書類は鍵付き書庫で保管しています。また、不必要な事業所外への持ち出し等がないよう徹底しています。 	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	36	障害のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者の方とお話をする際や保育所等訪問支援報告書を記入する際には、難しい言葉は使わずに伝わりやすい言葉や内容でお伝えするよう心掛けています。 ・連絡事項等がある場合には、電話やLINEなどを活用し、ご家庭に合わせた連絡方法で情報共有を行っています。 	今後もより安心して利用していただけるよう、それぞれの児童や保護者の方に合わせた丁寧なやり取りを心掛けてまいります。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	訪問時は、訪問先施設と可能な範囲で情報共有等を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	67%	33%	状況によってできないこともありますが、可能な範囲で行うことができるよう努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	保育所等訪問支援報告書で情報共有を行っています。また必要に応じて電話やLINE等を活用しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の方及び児童がいる場面においては、個人情報漏れのような対応、会話等は行わないよう徹底しています。 ・個人情報を含む書類は鍵付き書庫で保管しています。また、不必要な事業所外への持ち出し等がないよう徹底しています。 	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	訪問時に訪問先施設との情報共有等をする時間を可能な範囲で設けています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	33%	67%	事業所のマニュアルは対応していないため、訪問先施設のルールに沿って行動しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	安全計画を作成し、定期的に研修の受講や訓練等を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	67%	33%	ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有及び再発防止策の周知徹底を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事業所内での研修を実施するとともに、日頃から意識して支援にあたることができるよう周知徹底しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束のマニュアルを策定し、事業所内で共有しています。 ・現在、身体拘束が必要となる場面が想定される児童はいないため、運用事例はありません。 	児童の特性等を考慮しながら、適切に対応していただきたいです。